

開講年度	令和6年度	開講課程	博士前期課程
授業名	総合医療医学特別演習		
開講キャンパス	紀三井寺	教室	各研究室
科目区分	特別科目	配当年次	1～2年次
必修・選択の別	選択	単位	2単位
対象学生	—	使用言語	日本語
キーワード	(放射線医学) 画像診断 (救急・集中治療医学) ガイドライン、標準化、アルゴリズム (麻酔科学) 周術期		
担当教員 (下線：科目責任者)	医	(放射線医学) 教授 園村哲郎、准教授 南口博紀、准教授 生駒 顕 (救急・集中治療医学) 教授 井上茂亮、准教授 上田健太郎、准教授 田村志宣、 講師 米満尚史、講師 宮本恭兵 (麻酔科学) 教授 川股知之、准教授 時永泰行、講師 藤井啓介、講師 山崎亮典	
	薬		
授業の概要	放射線医学、救急・集中治療医学、麻酔科学の各分野において講義及び演習を行う。本演習では、内科・外科にとらわれない総合医療医学の各分野における主要テーマについて文献を読み、専門的知識及び基礎・臨床研究の手法について学ぶとともに、臨床知識・技術を修得する。またディスカッションを行うことにより、自ら考察する能力や課題発見力を養うとともに、研究結果の解釈法や発表方法について学ぶ。		
到達目標	<p>(放射線医学) 主要な疾患の典型的な画像所見を理解する。</p> <p>(救急・集中治療医学) 救急医学の視点で疾病・疾患の治療手順を見直すことができる。</p> <p>(麻酔科学) 周術期医療に関する論文を理解できる。</p>		

授業計画	<p>(放射線医学) CTやMRIなどを用いた画像診断の論文を読み、討議する。(園村哲郎／南口博紀／生駒 顕)</p> <p>(救急・集中治療医学) 標準化された救急医療に関する知識を習得し、その教育技法について学ぶ。救急診療におけるデータベース構築のあり方と集積されたデータに基づいた標準化された診療の成り立ちを学ぶ。(井上茂亮／上田健太郎／田村志宣／米満尚史／宮本恭兵)</p> <p>(麻酔科学) 周術期医療における主要テーマについて文献を読み、専門的知識及び基礎・臨床研究の手法について学ぶとともに、臨床知識・技術を修得する。またディスカッションを行うことにより、自ら考察する能力や課題発見力を養うとともに、研究結果の解釈法や発表方法について学ぶ。(川股知之／時永泰行／藤井啓介／山崎亮典)</p>
授業の方法・形態	演習を中心とする。
使用するメディア	パワーポイント等によるスライド資料を使用する。
成績評価の基準	研究への取組100% (討議内容、ディスカッションへの参加姿勢、研究技能の修得状況、発表内容など) によりS (90点以上)、A (80～89点)、B (70～79点)、C (60～69点)、D (59点以下) の5段階で評価し、C以上を合格とする。
授業時間外の学修に関する指示	教科書・参考書が指定されている場合は予習を行うとともに、各回終了後には復習を行うこと。そのほか、各担当教員の指示に従うこと。
オフィスアワー (学生からの質問事項等への対応)	担当教員により異なるため、希望する場合はメール又は電話により予約すること。
教科書・参考書	<p>(放射線医学) 特に指定しない。</p> <p>(救急・集中治療医学) 【参考書】「救急診療指針 改定第5版」 監修：日本救急医学会 出版社：へるす出版</p> <p>(麻酔科学) 特に指定しない。</p>